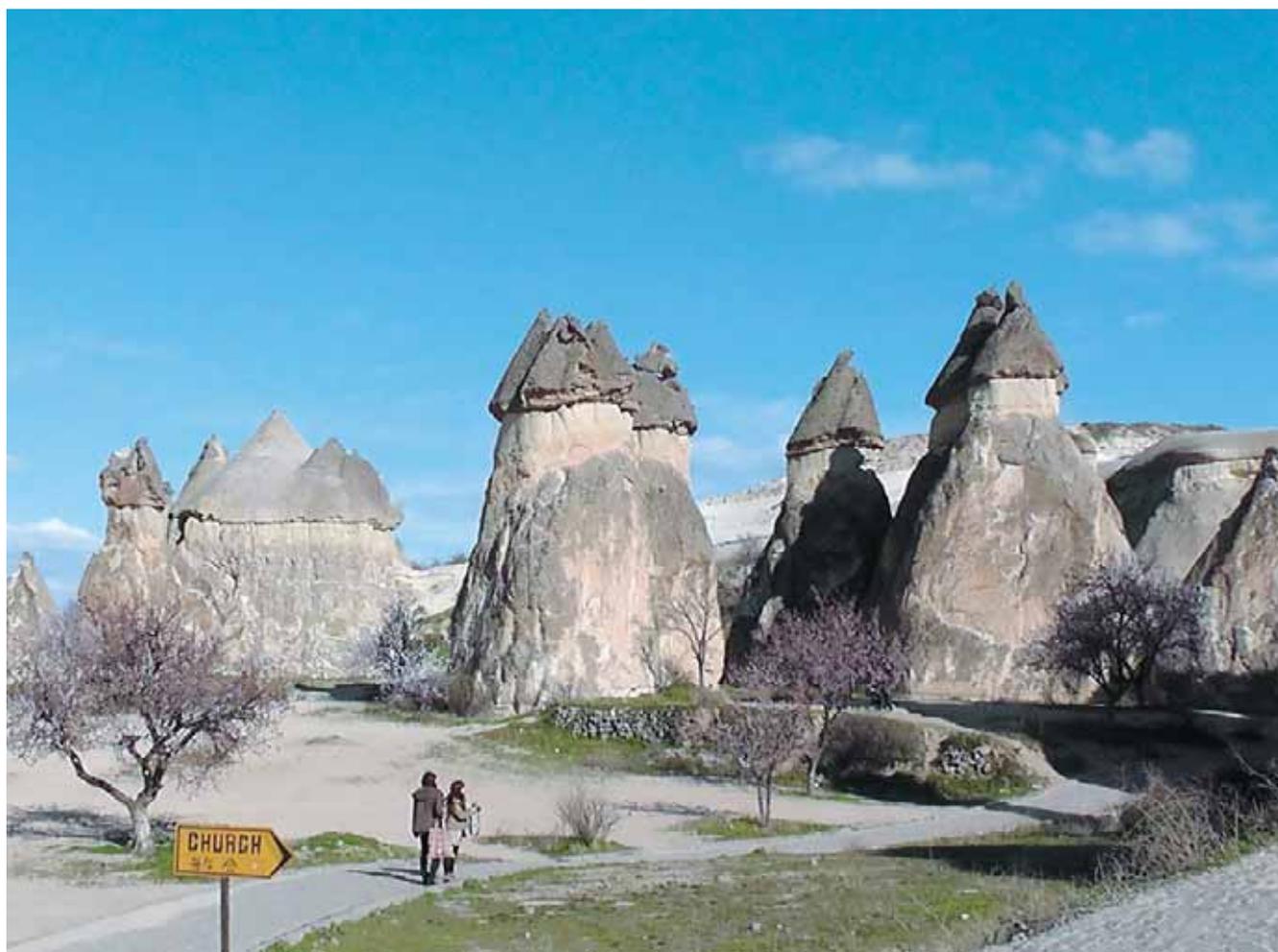


図書館だより

都城工業
高等専門学校
図書館

No. 79

JULY 2016



「カッパドキア奇岩群」

特集

こんな本に出会った

独立法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology, Miyakonojo College

あるテレビ番組について 図書館長 西村 徳行..... 1

特集 こんな本に出会った

“信頼のできる師”と“頼もしい友人”

機械工学科 藤川 俊秀..... 2

本を読む理由 電気情報工学科 迫田 和之..... 3

新入生オリエンテーション開催される..... 4

テーマ展示を開催しています..... 5

図書委員長と副委員長になつての抱負..... 6

委員長 清武 大晃(4年機械工学科)
副委員長 仲澤 侑花(4年物質工学科)

平成28年度学生図書委員..... 6

ごあいさつ(司書紹介) 笹原 いづみ..... 7

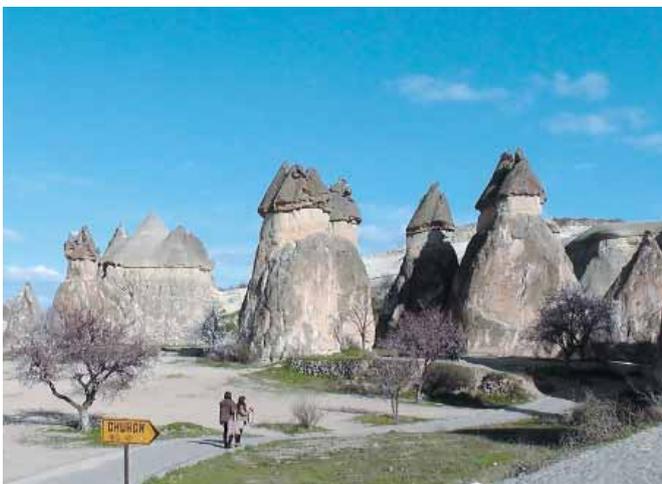
平成28年度ブックハンティング実施される..... 8

平成28年度図書館カレンダー..... 9

図書館からのお知らせ..... 9

夏季休業期間中の長期貸出について
夏季休業期間中の開館について

編集後記..... 9



表紙「カッパドキア奇岩群」

撮影時期：2013年3月

撮影場所：カッパドキア(トルコ共和国)

カッパドキアは南中央トルコに位置する地域で、「きのこ岩」とも「妖精の煙突」とも呼ばれる奇岩で有名な場所である。1980年に、このカッパドキア岩石遺跡群は、ギョレメ国立公園とともに世界遺産に登録された。

撮影：図書館長(一般科目) 西村 徳行

あるテレビ番組について

図書館長 西村 徳行

私事で恐縮だが、日曜日の夕方によく視聴するテレビの番組がある。午後6時よりBS日テレで放送される「久米書店」という番組である。久米宏と壇蜜が、店長・店員に扮し、話題の新書を取り上げ、著者を招いて話を聞くというトーク番組である。2年ほど前から始まった番組だが、第2回の放送を偶然見て、面白いと思い、その後ほとんど欠かさず見ている。日曜の夕方は、5時から「笑点」を見て、6時から「久米書店」を見ると言うのが、我が家（といっても家内との二人暮らしだが）のルーティーンとなっている。

その番組で紹介された本を買ったかと聞かれると、恥ずかしながら1冊しか購入したことがなかったのだが、先日放送された本は、読書に関して書かれたものだったので、2冊目として購入して読んだ。出口治明氏の『本の「使い方」』（Oneテーマ21）である。著者の出口氏は、ライフネット生命保険会社の会長兼CEOという立場の方だが、1万冊以上の本を読んだという、自他共に認める「活字中毒者」である。

氏は本書の中で、教養を身に付けるためのツールとして、「人」・「旅」・「本」の3つをあげている。そして、この3つの中で本が持つ優位性について述べている。何百年も読み継がれたもの（古典）は当たりはずれが少ない コストと時間がかからない 場所を選ばず、どこでも情報が手に入る 時間軸と空間軸が圧倒的に広くて深い 実体験にも勝るイメージが得られる、の5点である。～ については、私も全校集会や特活の図書館利用の際に学生諸君に話していたことであり、読書の達人も同じことを考えていると、わが意を強くした。

番組の話に戻るが、取り上げられた本について、店長・店員・著者が、自分の気に入った箇所を朗読するコーナーがあるのだが、この回では、出口氏は、本書の最後のほうに書かれている、美智子皇后の言葉を取り上げている。これは、皇后が1998年に開催された「国際児童図書評議会」の基調講演で話されたもので、『橋をかける 子供時代の読書の思い出』（すえもりボックス）というタイトルで書籍化されているということである。その一部を、出口氏の言葉で紹介したい。

美智子さまは、本を「時に子供に安定の根を与え、時にどこにでも飛んでいける翼を与えてくれるもの」とたとえています。

そして、この根と翼があるからこそ、人は、自分と周囲の間に、あるいは、自分自身との間に「橋をかける」ことができるのです。

「久米書店」では、新書の紹介の他に、著者本人や編集者が本を売り込みに訪れて、壇蜜を相手にプレゼンテーションをやるという「蜜読」というコーナーもあり、充実の1時間である。機会があれば、一度ご覧いただきたい。

最後に、「久米書店」で取り上げられた新書の中から、何冊かご紹介して、本稿を閉じたい。

推薦図書

中西哲生『日本代表がW杯で優勝する日』（朝日新書）

吉田友和『10日もあれば世界一周』（光文社新書）

宮元慎也『意識力』（PHP新書）

酒井政人『箱根駅伝 襷をつなぐドラマ』（Oneテーマ21）

『情報の「捨て方」』（角川新書）

加藤諦三『悩まずにはいられない人』（PHP新書）

岩合光昭『野生動物カメラマン』（集英社）

池上彰『知らない恥をかく世界の7大問題』（角川新書）



“信頼できる師”と“頼もしい友人”

機械工学科 藤川 俊 秀

本年度から機械工学科に赴任しました藤川俊秀と申します。私にとっての“本”とは、人生や研究においては、先人の知恵や知識を与えてくれる“信頼できる師”であり、ときには最高のアドバイスや励ましを与えてくれる“頼もしい友人”かもしれません。私自身、勉強することを楽しみながら、本や論文を読んで自分の仕事に役立てる態度を身に付けようと努力しておりますが、何かに躓いたり、頭の整理ができなくなると、読み返す本があります。ここでは、その2冊を紹介したいと思います。

1. 「20歳のときに知っておきたかったこと スタンフォード大学集中講義」

私が20代後半のときに、知人の先生から本書をご紹介いただきました。タイトルには「20歳のときに知っておきたかったこと」とありますが、いまになっても何かに躓いたときに“頑張っていこうという思いを強くしてくれる”本です。

本書は、起業家精神、もしくは企業のリーダーシップについて書かれた本ですが、どのように生きるかについて提案を与えてくれます。幸いなことに、本書は私の行動原理に良く合っていたのでとても共感することができましたが、この本に書かれていることは、(残念ながら)とても平凡なことです。当たり前のことです。でも、それを「完璧にできる人はほんのわずか」です。私は、この本に書かれていることを実践したいと考えてきました。

例えば、“やるまえから諦めず、やってみてから判断してみる”ということなどです。それを行動に移すときに生じる弊害はいくつかありますが、本書の10章に記載されている「常識を疑う許可、世の中を新鮮な目で見る許可、実験する許可、失敗する許可、自分自身で進路を描く許可、自分自身の限界を試す許可」を実践し、いまでも自分の気持ちを常に高めて行動するように心掛けています。

2. 「本当に頭がよくなる1分間ノート術」

学生のみなさんに紹介したい著書の一つです。私自身、学生のときに本書と同じ方法でノートをとっていたのですが、授業でのノートの取り方、復習ノートのまとめ方などが実用的であったことを改めて認識できました。例えば、「教科書、配布資料には書き込みしてはいけない」、「必要な資料はコピーして大事なところだけを切り抜いてノートに貼る」、「大切な箇所は1分間で見返せるノートを作る」などです。

本書で紹介されている方法は、民間企業で働いていたときにも非常に役立ちました。企業では、多くの関係者の方々と議論を重ね、議論を通じて資料を調査し、思索し、資料を作り、また議論を繰り返すことを行います。次第に、数多くのメモ用紙や配布資料などが増えていき、頭の中で整理できなくなることがよくありました。その際に、本書の要点を再確認することで、いらぬ情報と必要な情報を直ぐに仕分けできるようになり、作業効率を大幅に向上させることができました。

推薦図書

「20歳のときに知っておきたかったことスタンフォード大学集中講義」

ティナ・シーリグ 著、高遠裕子 訳、三ツ松新 解説(阪急コミュニケーションズ)
単行本:¥1,400(税別) 電子書籍:¥1,120(税別)

「本当に頭がよくなる1分間ノート術」

石井 貴士 著(SBクリエイティブ)
単行本:¥1,512(税別) 電子書籍:¥1,200(税別)

「成功」と「失敗」の法則

稲盛和夫 著(致知出版社)
単行本:¥1,000(税別)

本書は、どのような思いで仕事(勉強)に取り組むか、稲盛和夫氏(日本航空名誉会長)の経験に基づいた“人生”の成功と失敗の法則を教えてください。

第1章 人生の目的 第2章 思いの力 第3章 自らを慎む 第4章 道をひらくもの

本を読む理由

電気情報工学科 迫田和之

本年度から電気情報工学科に赴任しました迫田和之と申します。私が好んで読む本は、冒険小説やサイエンスを盛り込んだサスペンス、ファンタジー等様々です。

私が好んで読む本は様々ですが、本を読むきっかけになった一冊は「ロビンソン・クルーソー」という本で無人島に漂着した一人の男性がその島で生き抜く様を書いた物語です。この本は私が小学生の時に学校の図書館に置いてありました。何気なく取って見た一冊だったのですが、内容に引き込まれ読んでいくうちに頭の中にイメージがどんどん湧いてくる、そんな本でした。今でもまた読み返したいと思う一冊です。これが私の本を読む原点になっていると思います。

このことがきっかけで本が好きになり、本の中の世界に浸っていました。少し時間があれば本を読むようになっていき、電車の中や人を待っている間など時間を見つけては読んでいました。それから大人になるにつれて知識を得るための参考書や自己啓発本なども読むようになり様々なジャンルの本を読むようになりました。

その様子を見ていた家族から本を読む理由を尋ねられたことがあります。そのとき私は、本の世界に没頭できるから読書をするのだと答えました。私の場合、本を読む理由は知識を得たいということもありますが、その本の世界にのめり込みたいからということが一番です。そのため読書は自分にとって、生き抜きや娯楽と捉えています。そのときの気分に合わせて読みたい本を読むわけですから、ファンタジーであったりサスペンスであったりと様々です。皆さんも本を読むのは知識や勉強のためだけではなく息抜きや娯楽と考えてみてはいかがでしょうか。例えば映画になっている本や、漫画などが元の小説もあるかもしれません。こういった本が一番気楽に娯楽として楽しめるかもしれません。

まずは興味がありそうな本を一冊手に取ってみてください。

推薦図書

「月の影 影の海」

小野不由美（講談社）

この本はファンタジー小説の十二国記シリーズの第一作目になります。現時点でシリーズ8作刊行されています。古代中国のような異世界の物語で、とても読み応えがあり未だ完結していません。初めて読んだのは三年ほど前なのですが、シリーズ全て一月で読破してしまいました。私自身も早く続きが出ないか心待ちにしている作品です。

（文庫 913.6/ オノ）

「アインシュタイン・セオリー」

マーク・アルパート（ハヤカワ文庫）

アインシュタインが追いつけた統一場理論を題材にしたアクションサスペンスです。理系の皆さんならば聞いたことがあるような専門用語も多々出てきます。理系心をくすぐるような1作です。



新入生オリエンテーション開催される

図書館では5月から6月にかけて、1年担任の先生のご協力を得て、特活の時間を使い「新入生のための図書館利用オリエンテーション」が開催されました。

初めに西村図書館長から、学生生活における読書の意義及び図書館利用の重要性について講話がありました。

図書係から「開館時間」、「貸出・返却の手順」など、図書館の利用方法についての説明を行いました。

続いて「図書館ツアー」と称して、図書館内の各配架場所(コーナー)を実際に回りながら説明しました。

オリエンテーションの間は、学生は真剣な表情で説明を聞きいていました。

最後は、実際に読みたい本を選んでもらい、体験貸出を実施して、オリエンテーションを終えました。



テーマ展示を開催しています

学生図書委員会では、毎年、図書館でテーマ展示を開催しています。

平成 28 年度第一回テーマは「ミステリー・原作物」です。

ミステリー小説と映画・ドラマ・アニメの原作本となった小説を各委員が 1 冊ずつ選び展示しています。どれも読みやすく、面白い本ばかりです。

紹介レビューも作成し、図書館と各クラスに冊子にして掲示しております。是非手に取りお読みください。



書名	著者名
『氷菓』	米沢 穂信
『化物語』	西尾 維新
『バケモノの子』	細田 守
『グラスホッパー』	伊坂 幸太郎
『空飛ぶ広報室』	有川 浩
『有頂天家族』	森見 登見彦
『緋色の研究』	C:ホームズ
『ダレン・シャン～奇怪なサーカス～』	ダレンシャン 橋本 恵 訳
『それから』	夏目 漱石
『鍵のない夢を見る』	辻村 深月
『珈琲店タレーランの事件簿』	岡崎 琢磨
『告白』	湊 かなえ
『アヒルと鴨のコインロッカー』	伊坂 幸太郎
『鹿男あをによし』	万城目 学
『ねらわれた学園』	眉村 卓
『あかんべえ』	宮部 みゆき

図書委員長と副委員長になったの抱負

図書委員長 清武大晃

今年度、図書委員長を務めさせていただくことになりました、4年機械の清武です。私は、一冊でも多くの本を皆さんに手に取ってもらいたいと思います。図書館には、小説や専門書の他にも趣味に関する本など、色んな種類の本が置いてあるので、皆さんにとって良い本にきっと出会えると思います。一冊の本を

じっくりと最後まで読まなくても良いので、気になるタイトルや挿絵の本があれば、気軽に手に取ってみてください。その本が自分にとって良い本であれば、繰り返し読みたくなるはずですよ。テーマ展示やブックハンティング、深山書評などを通して皆さんが良い本と出会えるように、図書委員長として精一杯尽力していこうと思います。一年間よろしくお祈りします。

図書副委員長 仲澤侑花

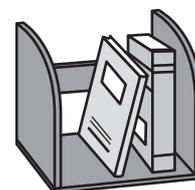
今年度副委員長を務めさせて頂くことになりました4年物質の仲澤です。ほとんどの方は図書館がどのような活動を行っているかご存知ないかと思います。そのため、ブックハンティングやテーマ展示などの活動

を通して、図書館を知ってもらえるように力を尽くしたいです。また、多くの方に利用して頂けるような環境作りに励みたいと思います。最後に微力ながら委員長をサポートしつつ、一年間頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

平成28年度学生図書委員

図書委員長：清武大晃（4学年・機械工学科）

図書副委員長：仲澤侑花（4学年・物質工学科）



学年 \ 学科	機械工学科	電気情報工学科	物質工学科	建築学科
1 学年	石ヶ野充樹	下山 拓馬	瀬戸 望美	亀澤 竜拳
2 学年	園田 健志	田中 恒成	山田 涼夏	小楠 梨菜
3 学年	吹上 由	未満 堅人	後藤 光貴	富澤 直也
4 学年	清武 大晃	若松 健介	仲澤 侑花	佐藤 豪
5 学年	岩田 真雄	宮崎愛美麗	下渡 篤志	徳丸 唯

ごあいさつ

図書係（司書） 笹原 いづみ

この4月より都城高専図書館のスタッフになりました司書の笹原と申します。

学生の頃憧れていた職業はホテルのコンシェルジュでした。大学で社会学を学び、英語の同好会に入り、バイトでお金を貯めては海外や国内を旅行しました。図書館の管理や窓口業務、皆さんのご質問やご要望にお応えしていく仕事はやりがいがあり、図書館司書もコンシェルジュも似ている気がします。ある意味夢がかなっているのかもしれない。

図書館には『おすすめ本』や『読むべき100冊』等のコーナーがありますが、読みやすい本や心に響く本は個人差があります。名作だからと期待して読んでも少しも響かない時は、『自分は感覚が変なのかなあ...。』とってしまいます。逆に本屋でたまたま開いた本から人生の方向性が変わるくらい影響を受ける時もあります。読書は能動的な行為ですから、その時の環境や心の状態がとても影響します。お腹が空いた時に食べる食べ物がとても美味しく感じるのと一緒にですね。お腹が空いたと言えば、私のカバンには飴玉も入っていますが、本も必ず入っています。昨年まで4年ほど東京に住んでいましたが、通勤で電車に揺られている20分～30分はいつも読書の時間でした。まるでNHKの朝ドラの様にその時間が楽しみで通勤時間が全然苦になりませんでした。

図書館の本の貸出は無料です。図書館はお財布の中が乏しいからといって借りられないものはありません。未熟者だからという理由で貸出を禁じたりしません。当り前のようですが、実はすごい事だと思いませんか？

図書館が身近にある学生の中に沢山利用して知識を蓄え、感性を育ててほしいです。そして人生の良い時も悪い時も方向を見失うことなく進んで行けるしなやかで強い自分を作り上げてください。

是非皆さん、本に出会う為に図書館に足を運んでください。いつも図書館でお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

推薦図書

『自助論』 サミュエル スマイルズ著 竹内 均訳 三笠書房

サッカー選手の本田圭介や長友祐都もバイブルにしていると聞きました。

“天は自ら助くる者を助く”気弱な自分の背中を叩いてくれます。

『それでも、日本人は『戦争』を選んだ』 加藤陽子 朝日出版社

東大教授加藤陽子さんがある高校の歴史研究部のセミナーで話した内容がまとめられています。普通のおよき日本人が、世界最高の頭脳たちが、「もう戦争しかない」と思ったのはなぜか？

『千利休とその妻たち 上・下』 三浦綾子 新潮文庫

『氷点』が有名な三浦綾子さんですが、歴史小説も素晴らしいです。自分を愛するということ、人を愛するということとは...。利休の生涯を通じて、愛・嫉妬・罪・救いが描かれた作品です。

ブックハンティング実施される

平成 28 年度のブックハンティングを、6 月 26 日（日曜日）に実施しました。

このイベントは、学生が書店で直接選書することによって、学生のニーズに即した書籍を購入し、本校図書館の学生用図書の充実を図ること。また、学生が多くの書籍に触れて書籍に対する知識や見聞を深めることを目的としています。より多くの新刊・専門書に触れるため、今年も宮崎市内の大型書店『蔦屋書店』にご協力頂きました。当日は、19 名の図書委員と図書委員の代理 1 名が参加しました。約 3 時間学生達は、クラスで募ったリクエスト図書のリストを確認しながら、図書を実際に手に取り熱心に選書していました。

今回のブックハンティングによって、選書された 83 冊が図書館の新着図書コーナーのブックハンティングの棚に展示されています。図書委員が書いたレビューも併せて展示していますので、是非多くの人に足を運んでご覧いただきたいです。



Book Hunting 2016

ブックハンティングで購入した図書一覧（一部）

書名	作者名	出版社
人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの	松尾 豊	角川 E P U B 選書
嫌われる勇氣 自己啓発の源流「アドラー」の教え	岸見 一郎	ダイヤモンド社
しばわんこの和のこころ	川浦 良枝	白泉社
英国一家日本を食べる	マイケル・ブース 寺西 のぶ子	垂紀書房
これだったんだ！おかずのコツ The 基本 200	小田 真規子	オレンジページ
奈良・京都の古寺めぐり 仏像の見かた	水野 敬三郎	岩波ジュニア新書
初めて学ぶ遠近法	フィリップ・W・メツガー	エムディエヌコーポレーション
感動をつくれますか？	久石 譲	角川書店
リーダー論	高橋 みなみ	講談社 A K B 4 8 新書
銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社
天才	石原 慎太郎	幻冬社
ゴーストハント 2 人形の檻	小野 不由美	メディアファクトリー
王様ゲーム 煉獄 10.29	金澤 伸明	双葉文庫
億男	川村 元気	マガジンハウス
また、同じ夢を見ていた	住野 よる	双葉社

平成 28 年度 図書館カレンダー

は休館日です

平成 28 年 4 月

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	12	13	14	15	16
⑰	18	19	20	21	22	23
⑳	24	25	26	27	28	㉑

平成 28 年 5 月

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	⑤	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑰	16	17	18	19	⑳	㉑
㉒	23	24	25	26	27	28
㉓	29	30	31			

平成 28 年 6 月

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
⑤	6	7	8	9	⑩	⑪
12	13	14	15	16	17	18
⑰	20	21	22	23	24	25
⑳	26	27	28	29	30	

平成 28 年 7 月

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
③	4	5	6	7	8	9
⑩	11	12	13	14	15	16
⑰	⑱	19	20	21	22	23
㉒	24	25	26	27	28	㉑
㉓						

平成 28 年 8 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
⑦	8	9	10	⑪	⑫	⑬
⑭	15	16	17	18	19	20
⑰	22	23	24	㉒	㉑	27
㉓	29	30	31			

平成 28 年 9 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
				①	2	3
④	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	⑰	20	21	㉒	23	24
㉑	26	27	28	29	30	

平成 28 年 10 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	③	4	5	6	7	8
⑨	⑩	11	12	13	14	15
⑰	17	18	19	20	21	22
㉑	23	24	25	26	27	28
㉒	30	31				

平成 28 年 11 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	③	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
㉒	21	22	㉑	24	25	26
27	28	29	30			

平成 28 年 12 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑰	19	20	21	22	㉑	24
㉒	26	27	㉑	㉒	㉓	㉔

平成 29 年 1 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	④	5	6	7
⑧	⑨	10	11	12	⑬	⑭
⑰	16	17	18	19	20	21
㉒	23	24	25	26	27	28
㉑	29	30	31			

平成 29 年 2 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	⑪
12	13	14	15	16	⑰	⑱
⑰	20	21	22	23	24	25
㉑	26	27	28			

平成 29 年 3 月 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	④
⑤	6	7	8	9	10	⑪
⑫	13	14	15	16	17	⑱
⑰	㉒	21	22	23	24	㉑
㉒	27	28	29	30	31	

図書館からのお知らせ

夏季休業期間中の長期貸出について

通常 10 日間の貸出期間を、夏季休業期間中は特別に長期貸出としますので、ご利用ください。

帯出冊数：7 冊以内

貸出開始：7 月 5 日 (火)

返却日：8 月 29 日 (月)

夏季休業期間中の開館について

夏季休業期間中の開館時間及び休館日は次のとおりです。

開館時間：平 日 9 時～17 時

：土曜日 9 時～17 時 (8 月 6 日、20 日、27 日)

休館日：毎週日曜日と 7 月 1 日、18 日、29 日、8 月 1 日、11 日、12 日、13 日、25 日、26 日

編 / 集 / 後 / 記

第 79 号の図書館だよりには、4 月に本校に着任されました 2 人の先生方から寄稿していただきました。それぞれに読書の思いでや楽しみ方等を語っていただきました。最後にお薦めの本を推薦いただきました。皆さんも今回の寄稿文に刺激を受け、図書館の利用が増えることを期待しております。また、今回の図書館だよりには、本校の図書委員が作成した「第 9 回テーマ展示：ミステリー・原作物」を紹介していますので、是非参考の上、本を借りて読んでください。

新入生を対象に「図書館オリエンテーション」を実施しました。図書館をおおいに活用して、今後の学習・教育に役立ててください。

発行に際しご多忙の中、ご寄稿いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。

